

武蔵野美術大学研究紀要 執筆要領

I. 構成

研究論文は、抄録、本文、註・引用文献等からなることを原則とする。

研究報告は、本文、作品図版等からなることを原則とする。

制作ノートは、制作者の文章、作品図版等からなることを原則とする。

II. 原稿仕様

(1) 文字数、ページ数

誌面は A4 横書き、26 文字×49 行×2 段組（2,548 文字）を原則とする。

1. 研究論文 8,000 文字以上。本文は図版等を含めて 13 ページ以内とし、タイトル、抄録を別に 1 ページ設ける。
2. 研究報告 6,000 文字以上。タイトル、図版等を含めて 8 ページ以内とする。
3. 制作ノート 2,000 文字以上。タイトル、図版等を含めて 6 ページ以内とする。

(2) 使用言語

原則として、日本語または英語とする。その他の言語を希望する場合は、登録時に申し出ること。

母国語以外は、必ずネイティブチェックを受け、いずれの言語の場合も完全な文章にして投稿すること。

III. 原稿作成

(1) 標題

Word 形式 A4 横書き 1 枚に、以下の項目をまとめる。

①タイトル：日本語、英語（その他の言語）

②執筆者氏名：執筆者全員の氏名。日本語・ローマ字併記。

紀要掲載時の順序は、原則として記載された順序とする。

共同執筆の場合、第一執筆者は当研究紀要に投稿する資格を有する者とする。

③武蔵野美術大学に於ける職名：本学以外に所属する場合は、その勤務先や職名など。

④武蔵野美術大学に於ける所属学科または担当授業科目：学外者は不要。

⑤専門分野

⑥文字テキストの総字数と図版点数

⑦抄録〔研究論文のみ〕：日本語 600 字以内、英語 300words 程度（その他の言語 相当数）

日本語から英語等への翻訳は、投稿者の責任において行うこと。

(2) 本文

Word 形式 A4 横書きを原則とする。その他の形式で提出を希望する場合は、事前に事務局管に確認すること。

文字数及び以下の注意事項を厳守すること。

・本文中の見出し（章、節、項等）は左揃えを原則とする。

- ・ブロック引用する際は全体を2字下げとし、その前後を1行ずつ空ける。
- ・引用文について、原文が外国語の場合は日本語訳を載せる。

【語句の表記・表示】

- ・文章は、原則として常用漢字と現代かなづかい表記による。
- ・句読点は「。」、「、」とし、欧文表記以外「.」「,」は使用しないこと。
- ・下記の符号は、いずれも全角（1字分）として扱い、その用法は以下のとおりとする。
 - 「 」：論文名あるいは引用文の表示に用いる。
 - 『 』：文中における書名、誌（紙）名の表示に用いる。
- ・各々の段落では、1字分空けて書き始めること。
- ・数字、ローマ字は半角（2字で1マス分）とする。

【外国の固有名詞】

- ・文中初出の人名は、カナ書きの後に（ ）でフルネームの原綴りを付記する。カナ書きでフルネームを記入する場合には、ミドルネームは頭文字のみとし原語のまま表記する。
- ・官公庁、研究機関等については、原綴りを記載する。

（3）註・引用文献

註、引用文献は文末に一括掲載する。脚注形式はとらない。文中の註は（註1）、（註2）…と表示し、位置は句読点の前とする。文末には、註1、註2…と表記すること。

【文献の書き方】

所属学会等の書き方に倣って記載する。特にない場合は以下の通りとする。同一著者、同一発行年が複数ある場合は、記号等を付記して区別すること。

- ・日本語単行本：著者、翻訳者等『書名』、出版社、発行年、pp. X-XX。
- ・日本語雑誌論文：著者「タイトル」『雑誌名』○号、出版社、発行年、pp. X-XX。
- ・外国語単行本：著者、書名、出版社、発行年、pp. X-XX。
- ・外国語雑誌論文：著者，“タイトル”，雑誌名，巻，号，出版社，発行年，pp. X-XX。
- ・日本語インターネット掲載論文：著者「タイトル」、ウェブサイト掲載機関名、発行年、URL、最終閲覧日。
- ・外国語インターネット掲載論文：著者「タイトル」、ウェブサイト掲載機関名、発行年、URL、最終閲覧日。

（4）図版（図、写真、表等）

- ・図版は、本文中に掲載箇所を明示することが望ましい。明示の際は、（図○）（表○）のように表示し、位置は句読点の前とする。
- ・図版のキャプションは、一括して別紙にまとめ、番号順に記載する。
 - 作品タイトル、制作年、素材、作品サイズ（高さ×幅×奥行）、所蔵先（必要に応じて）、撮影者氏名（任意）を付記すること。欧文併記については、任意とする。

【掲載許可】

図版のうち、著作権が他に帰属するものについては、必要に応じて投稿者より著作権所有者に対して掲載の承諾を取り付けること。手続き上、正式に「掲載許諾依頼書」が必要となる場合は、投稿者においてあらかじめ掲載の内諾を得た上で、投稿者の申し出に基づき編集委員会より依頼する。

（5）レイアウト

希望がある場合は、26文字×49行×2段組（2,548文字）に沿う形式で文章及び図版を配して、原稿と同時に提出すること。Illustrator等で作成したファイルや手書きでの提出も可。ただし、最終的

な割付は、編集委員会にて行う。

IV. 原稿提出方法

別途定める締切日までに、以下のすべてを揃えた完全な形で提出すること。

(1) 本文（抄録、註、引用文献含む）

原稿データを、メール添付または USB メモリ等に入れて提出すること。バックアップを投稿者が保存しておくこと。

(2) 図版

本文同様、データを提出する。バックアップを投稿者が保存しておくこと。

ポジフィルム等の現物を提出する際は、投稿者においてあらかじめデュープ等の対応を済ませてから提出すること。刊行後、投稿者に返却する。

(3) レイアウト

希望がある場合は、データをメール添付または USB メモリ等に入れて提出すること。手書きの場合は現物を提出すること。

(4) 査読希望の有無

研究論文の場合、専門家による査読を希望するか否かを記載すること。なお、査読の運用については「武蔵野美術大学研究紀要 投稿論文の査読に関する取扱い要領」に従う。

V. 掲載可否

(1) 編集委員会は、次の場合には掲載を認めない。

- ・規定以上の分量があり、調整しても規定に収まらない場合。
- ・研究紀要の内容にふさわしくないと判断した場合。

(2) 編集委員会は掲載方法と編集関連事項について、必要に応じて投稿者に対し訂正・修正を求める場合があるが、骨子是不変しないこととする。

(3) 編集委員会は研究論文について、査読を依頼した場合は査読結果を尊重し、採否を決定する。

VI. 校正

校正は執筆者が行い、文字校正は原則として2回までとする。カラー原稿に際する色校正が必要な場合は1回までとする。内容の大幅な変更は原則として認めない。ただし、編集委員会が指示ないし了承した場合はその限りではない。

VII. 事務所管（提出・問合先）

武蔵野美術大学 大学企画グループ 教学企画チーム

〒187-8505 東京都小平市小川町 1-736

TEL 042-342-7945

MAIL kenkyu@musabi.ac.jp

以上

(平成18年度研究紀要編集委員会作成)

平成18年 1月19日改正

平成19年 1月15日改正

平成20年 1月15日改正

平成21年 1月16日改正

平成22年 1月18日改正

平成23年 4月25日改正

平成24年 4月23日改正

平成29年 4月20日改正

平成30年 9月13日改正

令和 2年 1月 9日改正

令和 3年 2月18日改正

令和 6年 3月 5日改正

令和 7年 4月 1日改正